

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 2月 6日公開
シリア国境より

.....
イスラエルとシリアの国境からこんにちは。今、私はベントル山の頂上にいます。ここからイスラエル軍はシリアを見下ろします。後ろに広がっているのは、シリアの町々で、雪に覆われたヘルモン山も見えます。背後から銃声や爆発音が聞こえていますが、それでも私たちは非常に安全で、安心感を覚えています。実際、Behold Israel 聖書預言スタディツアーのメンバー50人が、今私と一緒にいます。7か国から50人が集まりました。

(歓声!!!) ご覧の通り、皆さんおとなしい方ばかりです(笑)

今ちょうど良い機会なので、非常に重要な事柄についてお話しします。皆さんもこの48~72時間ほどの間(2017年2月6日)、イラン政権がイラン合意に公然と違反しているというニュースを、ひっきりなしに耳にされていると思います。私はこれを「ジョーク」だと言っていますが、2年前にオバマ政権とイランとの間で締結されたもの(2015年7月14日)です。当然、国連安保理の事も公然と無視しています。

ところで、このメッセージの最中にも、もっと銃声や爆発音が聞こえるかと思いますが、私たちは安全だと感じています。ですから皆さんもどうか安心していてください。

まず事の始まりを思い出してください。オバマ政権がもはや存在しないことを、私はとても嬉しく思っています。しかし、イランがこの全地域において「蛸」(octopus)のようになったのは、彼らの責任です。すべての始まりは2009年。テヘランの町中に群衆が押し掛けたことに始まります。これは日々人々を大量虐殺し、人々の人権を蹂躪していたアーヤトッラー(書記注:シーア派高位ウラマーの冠する称号)政権に対しての、50万人以上の抗議デモでした。おかしなことに、私たちはオバマ政権からは何一つ聞かされず、ホワイトハウスや国務省は完全に沈黙していました。彼らはイランの人々を助けようとはしなかったのです。そして、何が起こったのかと言うと、彼らは何のためらいもなく、人権侵害を理由にエジプトのムバラク、チュニジア政府、リビア政府を裏切ったのです。しかし、アーヤトッラーはいまだに地位を維持し、公然と違反を繰り返しています(書記注:イランの国家元首ハメネイ、ロウハニ大統領ともにアーヤトッラーの称号あり)。当然、何百億ドルという大金を手に入れた2015年のイラン合意も無視。その中のいくらかは200年前の商人取引のように、袋の中に現金を詰めて渡されました。皆さんご存知の通り、現金取引を求める人間というのは、銀行で資金の流れが記録されるのを拒む者だけで、当然その金はテロリストの手に渡りました。理解しておくべきは、オバマ政権は、イスラム界の85%を占める穏健なスンニ派政権とスンニ派の人々を弱体化させました。そして、これまでになかった規模で、シーア派枢軸を強化しました。彼らはイランからその手をシリアとレバノンに伸ばし続けています。

ということで、ドナルド・トランプが受け継いだとても興味深いもの、現在のイランは暴走し、自分が

強いと感じており、何でもやりたいようにできると考えています。イランはこれまでに、アメリカとの合意も、国連安保理決議も、違反したところで何も支払う必要がなかったことを知っています。レバノンとシリアにおいて、イランはヒズボラを生み出しました。ヒズボラはレバノン国内において、テヘランの代理であり、現在はバシヤール・アサドの権力維持を助けるために、ヒズボラ兵士の9割がシリアに移動しました。それからイエメンでは、イランはフーシ派を強化しています。フーシ派とは、イエメンのシーア派の一派で、2004年に殺害された指導者フーシの名で呼ばれ、彼らは大変狂暴です。彼らはイエメンのほとんどを破壊寸前にまでしました。おそらく皆さんがご存じないのは、実際フーシ派はサウジアラビアに最大の脅威をもたらしているのです。紳士淑女の皆さん、サウジアラビアは完全武装しています。つまり、何兆ドルもする爆弾や武器、非常に精密なシステム、これらはサウジがアメリカ軍から与えられたか、もしくは購入したものです。しかし問題はシステムではなく、誰がそれを扱うか？そして問題は軍基地ではなく、その中に誰がいるのか？サウジの兵士たちは、世界で最も勇敢な兵士たちではありません。実のところ、サウジがイエメンと共有している長い国境に、非常に弱い地域があって、イエメン人は簡単にそこから入って、土地を乗っ取ることが出来ているのです。そして、フーシ派がサウジ領内に潜入するたびに、彼らはアメリカから間接的に受け取った何百万ドルもする武器を持ち帰ります。考えてみてください。アメリカはイランにおカネを与え、アメリカはイランが取引するのを認めました。とはいっても過去形で、オバマ政権時の話です。イランと合意し、何十億、何兆ドルという取引をしました。そしてアメリカは、イエメンのフーシ派反政府軍を間接的に武装しました。

また、理解しておくべきは、これらイエメンのフーシ派反政府軍は、アメリカの軍艦、サウジの軍艦にロケットを撃ち込みました。そして、大きな可能性として、もしドナルド・トランプがシーア派と軍事的に対立するのなら、それはイランとではなく、インド洋から紅海に入る入口のバブ・エル・マンダブ海峡、そこにイエメンが位置しているからです。つまりサウジでは、イランが支配しています。さらに他の反政府軍も存在します。そしてイラクでは、イランが「ハシャド・シャービ」と呼ばれるシーア派民兵組織を作りました。これは一般人の集まりで、シーア派軍も同様です。サダム・フセインの兵士たちは全員スンニ派でした。サダム・フセインはスンニ派イスラム教徒でしたから。そこで起こったのは、アメリカがそこで新しい軍隊を創設し、新しく人々を訓練して、ゆっくりと、しかし確実にシーア派が軍隊を乗っ取っていったのです。そして、オバマの時代にアメリカ軍のほとんどが撤退後、シーア派が完全に乗っ取りました。現在はISIS高官のほとんどが元イラク軍高官で、彼らはスンニ派です。これがなかなか強いのです。

ということで、イランが「蝮」のようで、レバノン、シリア、サウジ、イラク、そしてイエメンにいるのです。すべては、オバマ政権のおかげです。そのため、現在とても面白い状況になっています。シリアは絶えず不安定な状況です。なぜでしょう？それは、ドナルド・トランプが現在、とても面白い立場に置かれているからです。もし彼がISISと戦おうとするならば、ISISはスンニ派ですから、彼らと戦うにはシーア派を強化しなければなりません。しかし、シーア派とはイラン人の事です。彼はイランを支援することはできません。ですから、彼が何をしたとしても、必ずシリア前線が危険に晒されることになるのです。必ず、あの地域に問題が生じるのです。

次に、別の件についてご説明します。ここで起こっているのは政治的な戦争ではなく、宗教戦争です。もう何か月も言い続けていますが、おそらく一年くらいになるでしょうか。現在、中東の戦争で死んでいる人々の大半は、イスラエルやパレスチナとはなんの関係もなく、シーア派、スンニ派の問題によつてです。イランが操り、サウジアラビアが操っています。その状況全体から、最終的に我々イスラエルは、非常に厳しい一歩を踏み出さざるを得ない地点に到達するのです。彼らがすべての怒りをイスラエルに向けるのを防ぐためです。皆さんもお聞きになった事と思いますが、2週間前にイラクのモスルで化学兵器の巨大格納庫が発見されました。全世界が、アメリカ人も、イラクに大量破壊兵器などないと言っていたのですが、もちろん彼らは間違いでした。サダム・フセインは化学兵器と生物兵器を生産していました。懐疑的な人たちに言うておきますが、湾岸戦争（1990）の時にもイラクで「イエローケーキ」と呼ばれるウランの巨大格納庫を発見しています。そのウランは今、個体の状態で、核爆弾となる次の段階へと移行する準備が来ています。つまり、この地域には非常に多くの危険な武器が存在するということです。アサド政権は、独自の化学兵器生産工場を所有しています。サダム・フセインの武器は、ダマスカスに密輸されています。そして、シリアで戦争が続く限り、不正な人物がその武器に手をかけ、それがいずれイスラエルに向けられる危険がどんどん増すのです。考えてみてください。1990、1991年にサダム・フセインがクウェートを侵略した後、アメリカはイラクに侵攻しました。その時、何とイラクはアメリカを攻撃しませんでした。イラクはクウェートも攻撃しませんでした。イラクは39発のスカッドミサイルを、イスラエルに発射したのです。世界から苦しめられる度に彼らが毎度行うことは、全ての怒りを我々に向けるだけです。これはイザヤ書 17:1 を彷彿とさせます。

1 **ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廢墟となる。**

（イザヤ書 17:1）

今、そこにダマスカスのはずれが見えていますが、3分の2が空っぽでも、まだ建っています。人が住んでいるのは3分の1だけで、そこに住んでいるのはどうしようもない集団です。そして、必要とあれば、我々はあの町を簡単に絶滅させることが出来るのです。あそこにはもう、罪のない市民は住んでいないことが確実ですから。もし、彼らが不正な武器に手をかけるなら——そうなることは確実ですが、彼らは必ず我々に向けてくるのです。ご存じの通り、数週間前に化学兵器と生物兵器が、はるばるイランからやって来て、ダマスカス空港に着陸しました。ヒズボラに密輸するため、ヘルモン山の裏を通過してレバノンに入ろうとしていることが分かりました。そこからイスラエルに向けて発射するためです。その時イスラエルは何をしたのかというと、ロシアがその政権に与えた高性能システム対航空機砲台 S400 があるため、私が今立っている場所から 300 ヤード（300m 弱）離れた基地から地対地ミサイルを数発発射しました。そこに我々の基地があって、そこから高精度ロケットを数発発射し、地上のものを破壊したのです。つまり、イランは国際合意を無視していますが、トランプの非常に大きく主要な要点の一つが「アメリカ優先」。

「我々はもはや、兵士を中東には送らない。膨大な費用がかかる上に、我々の兵士が無意味に死ぬだけだ」

「もし、海峡を防衛するとしたら、世界中の原油流通のためだけだ」

要点は、アメリカが中東に兵士を送ると思うほど、私は純粋でもなければ世間知らずでもありません。それはないということは、我々の誰もが知っています。そして、これから起こるのは、ロシアがいずれ

「今がその時だ！」と感じた瞬間に、イスラエルに侵攻し、ここにあるガスと石油を奪うために動き出します。それから当然、イラン、トルコ、リビア、スーダンがそれに加わるとすぐに地域戦争が勃発します。

聖書預言が目の前で展開されています。イザヤ書 17 章がこれまで以上に近づいているだけではありません。もし私が 5 年前に「ダマスカスが完全に破壊される」と言っても、世界中で誰も信じなかったでしょう。でも今は、それは夢でもなく、幻想でもなく、事実なのです。人口 100 万人以上の都市がほぼ完全に空っぽで、完全に破壊されました。そして一旦、彼らが化学兵器に手をかけると、町は廃墟となります。イザヤ書 17:1 はそのことを言っているのです。我々が自分たちの目で見ているのは、イランが公然と違反することで、全ての鍋が過熱され、ドナルド・トランプが兵士を送るか否かの決断を迫られるまでに到達しようとしています。すでに彼は、兵士を送らないと言っていますが。それから彼は、イラン合意も取り消さない、むしろ何らかの形で強化する、と言っています。これまでオバマ政権は、最後の最後まですべての違反を無視してきました。トランプは彼らに「従わせる」と言っています。そして、もし彼らがそれに従わなければ、制裁を課して、彼らの方から合意を取り消すようにする、中東で何が起ころうと、兵士がアメリカから中東へ行くことは、もはやない、と。アレッポの町では今、ロシア軍兵士が歩いています。ダマスカスのはずれにも、今はロシアの兵士が歩いています。唯一、トランプとプーチンの意見が一致していることは、ここでイランが強くなることを望んでいないということです。ところで、プーチンはアレッポを乗っ取って、イラン兵がアレッポの通りを歩くことを禁じています。これはバシヤール・アサド政権にとっては大打撃です。彼はそこで大きなパーティをして、世界中に自分が勝利したことを見せたいのです。ところが、ヴラディミール・プーチンはそれを許しません。しかしながらイランは、シリアを撤退するようにと命じられたにも関わらず、一度も撤退せず、ヒズボラを完全武装させ、この地に居座っています。しかし、誰もそれを止めません。私の後ろ、16 マイル（約 26 km）離れた場所に、ロシア兵、イラン兵がいます。そして、さらに北へ行ったところにはトルコ兵がすでに入っています。イスラエルの通信システムには今や、アラブ語よりもっと多くのロシア語、ペルシャ語、トルコ語が聞こえてくるのです。

皆さん、エゼキエル 38～39 章はただの本・紙切れではありません。それは中東の現実なのです。その戦争の後、反キリストがヨーロッパで起こり、この世に平和をもたらします。世界のこの部分に、です。私たちはここにいるつもりはありません。私は、ここにいるつもりはないです！皆さんはここにいるおつもりですか？

NO!!!

その通りです！私たちは一つの事を覚えておかなければなりません。我々は間もなく去るのです。我々は、自分がどこへ行くのかを知っています。問題は、あなたは準備ができていますか？あなたは、イエシュア、イエスに来てくださいという準備が出来ていますか？皆さんもご存じの通り、聖書にはこうあります。

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

私たちは、主に「来てください」と言わなければなりません。主に来てほしいと思うには、私たちの備えが出来ていなければなりません。今、シリア国境から、私から皆さん全員へ、「備えをしてください。」ご自分の人生を見直してください。自称クリスチャンが、皆クリスチャンではありません。我々は主に従い、主の御言葉に従い、主につながり、主を信頼しなければなりません。我々は主のみことばに留まっていなければなりません。そして我々全員がイスラエルを支援しなければなりません。山羊ではなく、羊になるのです。私たちが同じ考えをもって主を呼んだ時、彼は戻って来られます。それから皆さんに言っておきたいのは、私は、これから何年も先の事だとは思っていません。なぜなら、私の周辺すべてが、その日がとても近いことを証明していますから。ですから、この国境から皆さんに挑みます。爆音や銃声は聞こえます。それでも私たちは安全だと感じています。神の子どもは恐れるべきではありません。私たちは、自分たちがどこに向かっているか知っているからです。問題は、どこから来たかではなく、どこへ向かっているのかです。大事なのは、どう始めたのかではなく、あなたがどう終えるのかです。ここにいる全員と、これを観ている皆さん、後でこれを観る方全員に、私からの挑戦は、どんなことも当たり前と思わず、何事も軽く見ず、物事を後回しにしないでください。今はイエスの時代以来、もっともワクワクする時です。そして、我々全員がすべきことは、花嫁として、花婿の到来に備えることです。

ベンタル山の頂上、シリアとの国境から、我々全員から皆さん全員に——ここにいる皆さんを映してください——みんなで Shalom, Good-bye, We love you! と伝えます。どうぞ！

Shalom!

ところで、皆さんは脅威を感じますか？

No!

皆さん、ここにいる 50 名は家に帰りたいなんてこれっぽっちも思っていません(笑)ですから、これを観ている皆さん、——

「ここが家ですよ！」

その通り、あなたの故郷です！もしこれをご覧になっている方で、この中の誰かのご家族の皆さん、彼らはよく食べ、よく寝て、めいっぱい楽しんでます！なぜ、私がこれを言うかといえば、残念ながら私たちを取り囲む周りでは、状況が全く違うからです。

ということで、ゴラン高原の頂上より、皆さんが素晴らしい週を過ごされますように！
そして、忘れないでください！「備えよ！」

そして同時に、私たちは言い続けなければなりません。ここの人たちにも言っていますし、いつもインターネットで言っています。私たちは、これまで以上に祈らなくてはなりません。自分たちの備えが出来るようになるだけでなく、私たちの家族も備えが出来ますように。ヨシュアが、イスラエルの民に言ったこと（ヨシュア記 24:15）をよく覚えておくのです。あなたが何をしようと、あなたに準備が出来ていようといなかりと——あなたにも準備をするように強く勧めますが、ただ、

15 **私と私の家とは、主に仕える。**

(ヨシュア記 24:15)

この御言葉には、大きな力があるのです。私たちがここを出るその日まで、毎日宣言し、口にし、そしてあなたの家族に伝えてください。

15 **私と私の家とは、主に仕える。**

(ヨシュア記 24:15)

God bless you all!!

Shalom from Israel!!

Bye-bye!!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO